

## 埋め込み式中心静脈ポート・カテーテルを留置された患者様へ

－埋め込み式中心静脈ポート・カテーテルの取扱いについて－

国立がん研究センター東病院 病院長代理



この度、埋め込み式中心静脈ポート・カテーテルを留置された患者様へご連絡いたします。

埋め込み式中心静脈ポート・カテーテル（以下、ポート・カテーテル）は、鎖骨の下の太い静脈などにカテーテルと呼ばれる管を挿入し、丸いポート部を皮下に埋没させた医療機器です。中心静脈リザーバーなどの名称でも使用されています。これは、外来化学療法や栄養管理などを目的として広く使用されています。

ポート・カテーテルは、本来、長期間体の中に埋め込んでいても断裂などの問題がおきないよう設計・作製されておりますが、一部メーカーにおいてカテーテルの断裂事故が報告されています。当院におきましても、**2008年1月31日**まで採用していたバード社製のポート・カテーテルについて断裂を数例経験しております。

断裂したカテーテルは、ほとんどの場合は回収可能であるものの、極めて稀に回収不能となり外科的治療を必要とする事例があります。

**当院としましては、2008年1月31日以前に当院にて留置されたバード社製のポート・カテーテルは、使用・未使用にかかわらず、抜去されることを強くお勧め致しております。**

抜去のご希望の方ならびにご質問・御相談のある方は、当院の医療連携室（2F）もしくは外来担当医まで御連絡ください。ご理解・ご協力の程、宜しく願いいたします。

2011年2月現在